

# 探訪あいち 担当者 報告書

ステージ名 矢作川リバーサイドサイクリング（左岸編）

担当者（幹事） まつぼっくり

開催日 2019年5月2日（木・国民の祝日） 天候 晴

## サイクリングコース

岡崎公園前駅（午前8時30分）⇒ 渡橋 ⇒ 美矢井橋 ⇒ 美矢井橋運動公園 ⇒ 小川橋 ⇒ 志貴野橋 ⇒ 米津橋 ⇒ 上塚橋 ⇒ 矢作川西尾緑地 ⇒ 中畑橋 ⇒ 棚尾橋 ⇒ 矢作川大橋 ⇒ みなとまち緑地 ⇒ [昼食] ⇒ <折り返し・往路と同じ> ⇒ 真宮遺跡 ⇒ 岡崎公園前駅・解散（午後1時45分）

所要時間：5時間15分

距離：58km、高低差：15m

## 参加者

depportさん、高浜の石川さん、アロンさん、加藤賢一郎さん、川合静夫さん、ミシガンさん、Gconさん、くらぼんさん、大安の西川さん、尾野藤泰弘さん、安城のS山さん、青のタイレルさん、へたれのBHさん、hbさん、安城市のテラダさん、鉄のGIOSさん、西尾の三浦さん、幹事 計18人

## 感想文



令和の時代、愛知県サイクリング協会として、最初の探訪あいちです。

また、私自身としても、新時代最初の、そして、今年最初の探訪あいちとなります。

参加者は18人と大所帯となりました。全員が50歳以上と、熟年集団です。

今回の探訪あいちは、2017年10月に雨で中止となった企画を再現したもので、内容はそのときと全く同じです。

集合場所は矢作川左岸に最も近い、名鉄岡崎公園前駅。集合時間の1時間前に改札を出ましたが、既に集まっている方がいます。

東京都町田市から参加された方がいました。実家が岡崎市にあって、帰省ついでに参加されたとのこと。わざわざありがとうございます。

矢作川は長野県の平谷村に源流を發し、豊田市、岡崎市、西尾市、安城市、碧南市を流れる 118km の一級河川です。

矢作の名は、矢作橋の周辺にあった矢を作る部民のいた集落に由来しています。矢に羽根を付けることを「矧（は）ぐ」と言ったことから「矢矧（やはぎ）」となり、後に矢作へ書き換えられました。伝承によれば、日本武尊が東夷征伐の際、川の中州にあった竹で矢を作り勝利したことから「矢作川」と呼ばれるようになったとされます（Wikipediaより）。

今回は国道 1 号線の矢作橋付近から河口までを往復するサイクリングです。

堤防道路に出てびっくりしました。横殴りの風、否、暴風です。

真横からの突風で、うっかり気を抜くと、堤防道路から落ちてしまいそうです。

風が吹く方向に体を預けるようにして走らないと行けません。

向かい風でないことが、せめてもの救いでしょうか。



道路脇には河口からの距離表示が 200m おきに設置されているので、現在地の目安がつかます。

岡崎市から西尾市に入ると、矢作川左岸一体に茶畑が広がります。

緑だけではなく、黒いカバーに覆われている畑もあります。この黒い覆いは「寒冷紗（かんれいしゃ）」というそうです。

抹茶と煎茶は同じ茶の木から作られますが、栽培方法が違うのです。煎茶の茶葉は日光をたっぷり浴びて育つのに対し、抹茶の茶葉はある一定期間（4月上旬～5月）黒い覆いをかけて育てられます。この覆いをかけることによって日光を遮られた葉は、太陽光を求めてぐんぐん真上に伸びていきます。葉肉を厚くする栄養分が枝が成長するのに使われるため、葉は薄く柔らかくなり、渋みの成分（タンニン）が少なく、旨み成分（テアニン）の多い、抹茶に適した高級茶葉になるのです。

さらに下って、河口付近になると、潮干狩りや、魚の餌を捕るといふ人達が大勢いました。

川の長さの起点となる0m地点から2.2km下ったところが、終点となります。

ここからは、知多半島の武豊火力発電所、佐久島、篠島、日間賀島、渥美半島などが一望できます。対岸には碧南火力発電所のブルーの建物が目に入ります。



昼食はみそラーメン専門の「みそ善」にしました。この辺りには他に中華料理屋ぐらいしかないからです。

予約もなく、開店直後に18人ものサイクルジャージ姿のおじさんたちが入店してきたので、店の人も少し驚いたようでした。

札幌、八丁、信州、西京などのみそラーメンがあります。

私は下見の時に札幌みそラーメンを食べたので、今日は西京みそラーメンにしました。この地方では珍しい白味噌ですが、とても美味しく頂きました。

帰路もやはり、強い風に見舞われました。

天気も良かったので、風さえなければ最高のサイクリング日和だったのですが。

お茶の『香嘉園』で、抹茶アイスを食べました。自家栽培の抹茶を使ったアイスクリームです。スプーンを差すにも難儀するくらいカチカチに凍っています。

店員さんによると、メイン道路から離れた人通りの少ない場所に店があるため、立ち寄ってその場で食べるお客さんが少ないので、ソフトクリームは売っていないそうです。アイスクリームだと、家に持ち帰った頃に溶けて食べやすくなるとのことでした。

今日は八十八夜で、これから本格的な茶摘みシーズンに入ると教えてくれました。

店頭には100g 2千円もするような高級茶葉も売られていました。

一見大変高そうに思いますが、ペットボトル500ml 当たりにすると50円程度で作ることができます。逆に言うと、ペットボトルのお茶が、いかに高いかがわかります。

私はあまりペットボトルのお茶は購入しません。最近は色々な種類の水筒がありますから、自分で作ったお茶を持ち歩くようにしています。

最後に、真宮遺跡（しんぐういせき）に寄ります。

真宮遺跡は、縄文時代晩期（今から約3,000年前）から鎌倉時代（今から約700年前）にかけての複合遺跡です。矢作川左岸、乙川の南に位置し、1973（昭和48）年に区画整理事業に伴う工事中に発見され、平野部における大規模なものとして注目され、1976（昭和51）年に国の史跡に指定されました。

ここで、大安の西川さんが乗っている『MAEDA』ブランドの自転車が話題になりました。岐阜県土岐市にあるサイクルテクニカ・マエダで製作してもらった自転車だそうです。

私は初めてお目にかかる自転車です。

マスプロメーカーの自転車は、ほとんど台湾や中国製となってしまいましたが、日本には数は少ないながらも、このようなフレームビルダーによる自転車があるのは嬉しいことです。

皆様のご協力で、予定より早く岡崎公園前駅に戻ってくることができました。

時間があったので、自走で帰る方も多かったです。私も名古屋まで30kmほどペダルを回して帰宅しました。